

第9回句会 俳句

* 囀(り) 〓 さえずり

【高点句】

☆ゆく春や受話器の重き師の訃報 〔千恵〕

☆問診の一語気がかり花の冷え 〔眞澄〕

☆銃声も砲火も無くて百千鳥 〔一馬〕

【各自一句】

・孫の手に桜ひとひら我が手添え 〔撫子〕

・色を溜め思ひを溜めて八重桜 〔明美〕

・春惜しむ勝利の校歌口遊(くちずさ)み 〔静〕

・落椿塀の上にも路上にも 〔一馬〕

・訃報あり囀り黙して聴く日かな 〔千恵〕

・囀が呼ぶ囀に空溢れ 〔莫院〕

・囀に媪(おうな)の会話はづみけり 〔眞澄〕

・万愚説(ばんぐせつ)思わぬ通知小躍りに 〔隆司〕

・ほの白き夜桜の道ひとりじめ 〔安津子〕

* 以上、26句(3句ずつ8名、2句1名)より、選句は12名による

* 高点句は、高得点の句より3句(同点の句がある場合は、第二位の句迄)

* 各自一句は、得点に関わらず、作者自身の選出による